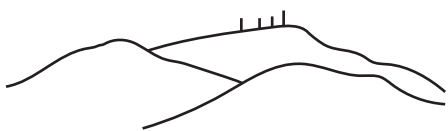


Youth Manna

2020/11/16 - 11/22



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2020/11/16(月) エレミヤ 45 章

今日の箇所は年代的には 36 章 8 節に続くものだ。バルクはエレミヤの預言を口述筆記した人です。神様に対して嘆いているバルクに対して、神様はエレミヤを通して語ってくださいました。「あなたのいのちを戦勝品としてあなたに与える」とは、神様がバルクを守って、彼によってご自分のわざを成し遂げるといふ約束です。

神様は嘆くバルクを受け止め、彼に約束を与えられました。それは神様が彼を愛し、用いたいと願っておられるからだね。

君は今どんなことがつらいかな？自分に向けられている神様の眼差しを感じながら、今自分に語られている神様のことばを聞こう。

2020/11/17(火) エレミヤ 46 章

46～51 章はイスラエルの周辺国について神様が語られたことばだよ。46 章はエジプトについての神様のさばきだね。神様はそのことばの中で「わたしは生きている」と言っておられる (18)。世界のすべての歴史の中に、生ける神様が働いておられるんだ。そしてその中で、神様はご自分の民に、さばきの後に回復を与えると約束され、「あなたとともにいる」と語られた。

僕らはつい、自分のことしか見れなくなったりするけど、自分だけでなく周りの人たちの内にも神様が働いておられることを見ていきたいね！今日神様がなさっておられることを積極的に見るようにしよう！神様が自分とともにおられ、自分を用いてみこころを行われることが良く分かるように祈ろう！

2020/11/18(水) エレミヤ 47 章

46 章に続き、イスラエル周辺諸国に対しての主のことばが記されている。この章はイスラエルの南西に位置するペリシテについて主が語られたことである。

「ガザを打つ前に」(1) とあるが、ガザはペリシテの主要都市の一つである。エジプトがペリシテを攻撃する前に、すでにファラオがガザを打つと語られた。主はすべてご存知なのである。2-5 節にはペリシテ人を破滅させる日について記されている。バビロン軍がペリシテに攻め上り、ペリシテ人は恐怖に駆られ、国は悲惨な状況になる。「主の剣」(6-7) とあるように、これら全ては主による裁きである。長年イスラエルを苦しめてきたペリシテは、主の裁きによって滅びてしまう。

主は全てを知っておられ、全ては主の許しの中で起きている。この神様に信頼して今日一日を歩もう。

2020/11/19(木) エレミヤ 48:1-25

エレミヤ書は希望を与えることばもあるが、今日のところは裁きが語られている。

モアブは、民族的には、創世記に出て来るアブラハムの甥口トの子孫で、イスラエルとは非常に近い関係にある。しかしモアブは、イスラエルとはそれほど友好的関係にあるわけではなかった。

1-10v ではモアブ全土がバビロンに討たれることを表している。モアブはモアブは自分で作ったものと財宝により頼んだために、バビロンに捕囚される。主のみわざをおろそかにした結果である。

25v 「モアブの角は切り落とされ、その腕は砕かれた」とあるように、町々は崩れ去る。これもバビロンを用いての主のさばきである。

モアブ人は主を知る環境にしながら、主のみわざを認めず、軽んじ、さばきが下された。あなたは主のことばやみわざをおろそかにしていることはないだろうか？主のことば、みわざに思いを向ける生き方をしよう！

2020/11/20(金) エレミヤ 48:26-47

▶昨日に引き続き、モアブへのさばきが神様から語られている。モアブがさばきを受ける理由は、主に対して高ぶっていたからだ (26,42)。26-30 節には、高ぶり・傲慢・誇り・慢心・不遜・自慢話と似たような言葉が並んでいる。どれくらいモアブが高ぶっていたかが分かる。

▶「高ぶる」とは何だろう？自分で何でも出来るかのように、思い上がった態度を取るのだ。私たちも高ぶってしまうことがないかな？学校や家で何の問題もない時は祈ることをしなかったり、うまく事が進んでいる時は自分の力だと思ったりしてしまうことは良くある気がする。

▶今日は、良いことがあったらその時に神様に感謝の祈りをしよう！困ったことがあったらその時に神様に祈ってみよう！いる。今日小さなことから神様に従おう！

2020/11/21(土) エレミヤ 49:1-22

神様はエレミヤにアンモン人とエドムについてのことを語ったね。その内容は彼らに神様のさばきがあることだった。それは確実にあることであり、避けられないことだったけど、神様は裁いて終わりではなく回復の約束や、神様により頼むようにと励ますことばも語られているね。

神様は時に厳しいことを語られる。だけどそこには必ず愛とあわれみがあることを覚えておこう！

聖書を通して、礼拝のメッセージを通して、親や先生を通して…いろんな形で神様はみんなに語っているよ！その声を聞き、その中にある神様の愛を知れるように祈ろう！

2020/11/22(日) エレミヤ 49:23-39

問題を目にした時、みんなはどういう反応をするかな？目の前のことを見て不安になってしまうことがあっても、その問題に神様が意味を与えられていることを知ることができたなら、私たちの応答や生き方は変わるでしょう。

今日の箇所ではダマスコ、ケダルとハツォル、エラムに対する神様のさばきのことばが書かれています。このさばきには神様の意味がありました。その意味には人が分かりえないこともあります。しかし、神様は 39 節のように約束を与え、計画を立て、実行される方です。

もし、問題を目の前にして、その意味が分からないとき、「しかし」と語られる神様のことばを期待し、信頼しましょう！